



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <https://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

年号は「平成」が「令和」に替わることになりました。安倍政権の天皇政治があらさまに出ています。「令」は命令の「令」であり、違和感を持つ人が多いもののそのことを口に出せない状況ではないでしょうか。県民投票であらためて辺野古基地建設反対の民意が示されたにも関わらず、それを顧みない民主主義を否定する安倍政権に対して私たちは毅然として抗議の意思



「平和とくらしを守る県民大会」で演奏する参加メンバー

10回目の沖縄行動

を示します。

ウチナンチュのチムグルル（沖縄人の精神、アイデンティティー）を呼び起こし、平和な沖縄を願って歩む県民とともに闘う多くの国民と、差別と闘う全世界の人々と連帯する輪を広げていきたいと思います。

そうした中で行われた沖縄平和行進は今回42回目、沖縄協・日音協の沖縄行動は10回目となった。当初は、主催者との調整もないまま、ゲリラ的なやり方であったが、沖縄協の再建もでき、沖縄平和センターとの協議の上、行進団の送り出しや県民大会での全体合唱の演奏などを組織任務として行うのが定着してきた。また、国会周辺での抗議行動に日音協の皆様の奮闘する姿も見られ、運動の広がりを感じている。この間の活動にあらためて感謝申し上げます。

今後は、組織拡大につながるよう沖縄行動に向けた事前準備と組織任務外の取り組みについて日音協の中で意見交換していきたい。まきていならん、新基地建設を阻止し、沖縄の自己決定権を求め、子や孫のために基地のない平和沖縄を、マジユンちばらなやーさい。（沖縄協・平良昌史）

2019 日音協沖縄行動行程表

参加者14人	
・茨城県支部 市川信義(アコ)・長野県支部 佐藤満(歌)・千葉県支部 根本賢治(歌)	
・東京都支部 森理子(アコ)・森達哉(歌)	
・メーデー合唱団 犬塚喜久雄(歌)・高野ゆり子(キーボード)	
・沖縄県支部 山城文雄(ベース)、平良昌史(主催側と調整)、嘉数正光(ギター)、石川勲(歌)	
・日音協中央 松本(ギター)、坂口(MC・歌) 日音協沖縄行動担当	
時間	日音協沖縄行動
15:00	結団式 15時～16時半 沖縄武道館アリーナ
16	参加者 平良昌史 根本賢治 市川信義
(木)	19:00 バレットくもじ 沖縄県那覇市久茂地1丁目1-1
	平良昌史、嘉数正光、佐藤満、根本賢治、市川信義、松本敏之
21:00	宿泊 名護市 オーシャンビュー希望ヶ丘
17	6:00 起床 朝食
(金)	8:30 平和行進1日目 キャンプシュワブゲート前(辺野古) 出迎え演奏
	9:00 中北部基地コース出発式
	9:30 送り出し演奏
	10:00 辺野古ゲート前 座り込み抗議行動に参加(山城合流)
	12:00 昼食(坂口合流)
	13:00 高江座り込み行動激励
	16:00 練習(オーシャンビュー希望ヶ丘)
	18:00 夕食&参加者交流会
18	6:00 起床
(土)	8:30 平和行進2日目 平和祈念公園平和の火 出迎え演奏(森理子・達哉合流)
	9:00 南部・戦跡コース出発式
	9:30 送り出し演奏終了後 行進参加
	13:00 昼食
	15:00 練習 会場:厚生会館ホール 17日県民大会に向けての練習(犬塚・高野合流)
	18:00 各自ホテルチェックイン
	19:00 沖縄行動大交流会&コンサート 会費:2500円
	会場:宮城康『ファイナルステージ』(石川勲、遠山正巳合流)
	22:00 片付け 解散
19	8:00 平和行進3日目 宜野湾市役所 出迎え演奏
(日)	8:30 普天間基地包囲コース出発式(2コース合同)
	9:00 送り出し演奏
	10:00 宜野湾海浜公園屋外劇場 リハーサル
	11:30 お迎え演奏(約40分間)
	12:30 平和とくらしを守る県民大会 開会
	日音協『沖縄今こそ立ち上がろう』『沖縄を返せ』伴奏・全体合唱リード
	14:00 撤収後沖縄行動参加者 感想会 解散



沖縄タイムスに掲載された日音協沖縄行動

【糸満】17～19日に行われた日本復帰47年の5・15平和行進の南部コースで、日音協のメンバーが音楽演奏で行進団を元気づけた。南部コースには約400人が集まり、南部戦跡などを巡った。日音協のメンバーは、平和行進に参加している。行進2日目は、糸満市摩文の平和祈念公園で開かれた出発式に、東京・千葉・栃木・茨城・京都、そして沖縄の会員13人が加わった。平和行進曲で行進団を送り出し、さるに最後尾について行進団を励ました。沿道の人々に平和

をアピールしていた。東京から来たリーダーの松本敏之さんは「沖縄からは日本の政治の貧困さを見ることで、さるというあいさつの言葉が印象に残った。沖縄の平和を巡る闘いは日本全体が抱えるべきものであり、私たちも音楽で連帯したい」と話した。最終日に宜野湾市の宜野湾海浜公園で開かれた「平和とくらしを守る県民大会」には、海外からを含め約2千人が参加。メンバーは野外ステージの舞台上で演奏し、会場を盛り上げた。

(城山正美通信員)

軍事基地はいらない



5/17 北部コース出発式前

公休の関係で事前に沖縄入りすることができ、集合の前日にどこかへ行こうと初めて那覇バスターミナルへ行きましたが、すごい数の行き先や経由地があり迷いました。世界一危険といわれる普天間へ行こうとしてバスに乗ると50分くらいかかり、地図ももたずどこが普天間基地かわからず（降りた普天間市場のバス停は基地を過ぎていた）、ノープランであったため今度は道路標識で嘉手納まで3時間くらいで歩けそうな距離だったので思い付きで歩いて行くことにしました。降りた普天間市場のバス停からすぐに別の基地（キャンプフォスター：のちに調べる）のフェンス沿いに進み、国道を右折し嘉手納まで〇〇キロの表示を頼りにウォーキング。太陽は真上から照りつけるなか右手はフェンスが続き、あと4つくらいのバス停で嘉手納のところより左手の海よりもフェンスが現れ、右の基地からは5分ほどの間隔で中型機？（詳しくないので分からない）が離陸し国道上空をわずかな高さで海に向かって飛んでいったと思ったらすぐに右に旋回して陸のほうに飛び立ち続けていきました。両側が基地であり国道は曲がる場所すらないので高速道のようになり、店も建物もなく人が歩いていないので当然その間のバス停はなく次のバス停が遠かった…やっと嘉手納のバス停に着いたものの道の駅かではもっと先でさらに歩き3時間以上かかって道の駅に到着、屋上から嘉手納基地が見えるがそのときには離発着はみられず爆音は聞かれなかった。さすがに帰りはバスで帰ることにしましたが、3時間歩いて基地が延々と続いている現状はまともではない、というひとりで歩いた感想でした。



ゲート前基地コース出発式

参加者集合の夜からは歌の練習が始まり、平和行進1日目のキャンプシュワブでの出発式後の出迎え&送り出し演奏のあと、座り込みテント内での交流では民意を無視した辺野古新基地建設ゲート前での動きと埋め立てに抗議し基地はいらないというみなさんの思い、そして現状を学びに来た全国の労働組合青年部の決意などを聞き、私たちも沖縄での真実を学び伝え広めていくことを決意しました。

平和行進2日目では行進にも参加し、平和祈念公園の出迎えから昼食場所まで歌い続けました。午後県民大会の練習で歌づくしでしたが、シフトの関係で最近練習ができていない状態や発表曲を歌いこんでいないためか集中力が続かないと歌詞を間違えたり、声量不足で特に行進しながらの歌では体力不足と相まって私たちの思いが聞いている人に伝わっていかないと感じ、3日目の県民大会の舞台での出迎え演奏も同様に集まってきた行進団の力になれるような歌を歌えるだけの力をつけていきたいと感じました。また基地の爆音や危険性、歴史や戦争の悲惨さをもっと知り、学んで心の底から「基地はいらない」と歌で伝えられるようにいろいろな経験をしていきたいです。今回歌った『5.15 沖縄行動マーチ』では軽快でみんなで行進しながら「オキナワに、せかいじゅうに、ぐんたいはいらない！」と歌えそうだし、ラップ調のところは言葉運びが難しいけどみんなで合合わせることができたら心強いし、『真実は沈まない』では「ひかりはやみにまけない」「まことはうそにまけない」と今の政治を変えるための歌にもなると思いました。

日程中には楽器に挑戦する決意もし、現地で思いを貫徹している人、平和に思いを寄せ結集してくる仲間たちにも力をいただきました。改めて自分にできること、そしてできることをさらに強めていくことを決意できた沖縄行動になりました、ありがとうございました。（千葉県支部・根本）



5/18 ファイナルステージで沖縄行動交流会&コンサート



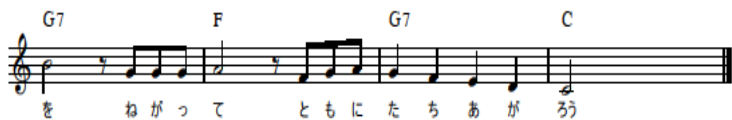
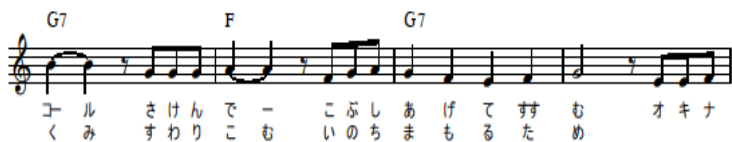
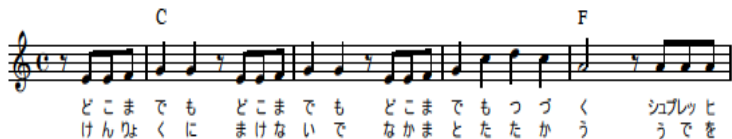
日音協沖縄行動参加者・集合写真

今回も全身で体感

みなさんご苦労様でした

●5.15沖縄行動マーチ

詩＝佐藤康弘 曲＝笠木博逸 (20190510)



沖縄行動の直前に、笠木さんから楽譜が送られてきました。沖縄行動で歌ってくれたらいいな、と松本さんに送ったところ、歌いにくいところを「沖縄バージョン」として直し、歌ってもらったようです。私もまだ聞いて（歌って）いません。いかがでしょうか？（佐藤）

日音協の沖縄行動（2019 平和行進）に、故宮良豊吉さん（沖縄県支部元支部長）のお連れ合いの君子さんから、今年も貴重なカンパをいただきました。ありがとうございます。宮良さんからのお手紙を紹介します。（松本敏之）

拝啓

まっ白いゆりの花が目を引く五月、又、平和行進の時期ですネ。きびしい現実の斗いに、いつも楽しいうた声でみんなを元気付け、しなやかに、あきらめない戦いをリードしているみなさまに心から敬意と拍手を送ります。

日音協、冲音協のご活躍を陰ながら応援しています。少しですが、お役に立てれば幸いです。

（私は19日（日）の大会に参加する予定です。お会いできればうれしいです。…）

宮良

山城様

19.5.14



3日日出発式前演奏（全員）



3日日出発式前演奏（頑張って演奏しています）



歌いながら平和行進に参加



高江N1ゲート



平和行進出発を妨害する右翼街宣車（宜野湾市役所）

全国代表者会議で検討 来年以降の音楽祭について

6月1日、第52回はたらくものの音楽祭 第2回中央実行委員会を開催しました。

まずは、開催県の秋田県支部の村岡支部長より、去る5月29日に開催された第52回はたらくものの音楽祭 第2回秋田県実行委員会の報告がありました。（詳細は次号に掲載）

●秋田県実行委員会の体制

実行委員長 黒崎保樹（連合秋田会長）
副実行委員長 小川 純（自治労秋田県本部）
副実行委員長 櫻田憂子（秋田県教職員組合）
副実行委員長 才村泰彦（情報労連）
副実行委員長 櫻田俊行（林野労組東北地本）
副実行委員長 水木 卓（連合秋田中央地協会長）
副実行委員長 村岡厚史（日音協秋田県支部長）
事務局長 佐藤正和（日音協秋田県支部事務局長）
事務局次長 藤井慎吾（連合秋田事務局長）
実行委員 佐藤 学（自治労）
実行委員 進藤一佳（秋教組）
実行委員 石田和人（情報労連）
実行委員 藤嶋 靖（林野労組）
実行委員 梅津和宏（全農林）
実行委員 妹尾 力（運輸労連）
実行委員 赤沼正樹（東北機械）
実行委員 高島宏樹（労金労組）
実行委員 福田廣美（連合秋田中央地協事務局長）
実行委員 後藤雅裕（日音協秋田）
実行委員 桜庭智英（日音協秋田）
実行委員 下総 大（日音協秋田）
実行委員 大嶋忠男（日音協秋田）
実行委員 熊谷 均（日音協秋田）
実行委員 藤原真栄（日音協秋田）
実行委員 沓沢典子（日音協秋田）
実行委員 木下知久（日音協秋田）

●前回の音楽祭から10年が過ぎていることや文化活動の活動の担い手が減少していることなど、とりわけ音楽で表現する活動に関する関心は高くないのが現状ですが、一人でも多くの皆さんに、労働組合の活動にも音楽の分野があることの認識を広めること。そして音楽を聴いて、歌って、感じてもらうことでつながりを作っていきたいと考えていますので、労組内での周知活動をよろしくお願いします。（実行委員会レジメより）



5月18日、秋田県実行委員会企画委員会を開催し、児童会館・けやきシアター（上・写真）の下見（会場スタッフの方と打合せ）、全国交流会会場（秋田パークホテル）の下見と打合せを行ってきました。（舞監担当：佐藤）

6月1日～2日の日程で、2019年全国代表者会議を開催中です。この中では来年以降の「はたらくものの音楽祭」についての検討が重要になってくると思います。（いくつかの県支部からは文書提起もいただいています。）

今の段階で、会員や読者の皆さんに具体的に提案できるものはまとまっていませんが、11月の第56回定期総会に向けて検討していきます。

今回は、第52回はたらくものの音楽祭（秋田音楽祭）の取り組み状況を報告します。

新幹事です



竹内さん

塚本さん

昨年の日音協第54回定期総会で、役員を選出するときに、幹事会が「来年の全国代表者会議で幹事ひとりを補充選出していただく」と口頭で提案し、提案通り決定いただきました。が、その際、「ひとりではなく2人の補充選出を検討すべき」というむねの発言があり、幹事会が引き取って検討した結果、2人の補充選出をお願いしたいという結論になりました。

そこで、6月1日～2日の全国代表者会議の一日目に第55回臨時総会を開催し、第54回定期大会の上に書いた決定を取り消し、次のとおり、日音協幹事2人を補充選出することとなりました。

所属支部	氏 名
新潟県支部	竹内崇史
長野県支部	塚本 昇

幹事会の平均年齢も下がります。お二人にはさっそく秋田音楽祭の任務をになってもらうこととなりますが、よろしくお願いいたします。（佐藤）

千葉へきてみてください

第6回 ふれあい音楽広場

うれしい事、悲しい事、今思っていることを歌や音楽で心をつないでみませんか！

こんな時こそ仲間とともに

日程：6月30日(日)
13時～17時頃
出入り自由

場所：京成労働会館3Fホール
京成津田沼南口・徒歩3分
労働金庫ATMのところ
参加費：500円

出演者
京成吹奏楽団
京成うたごえサークル協議会
アンサンブル・ディオン
砂川隆一（ギター独奏）
イッシー&ワッシー
小田嶋幸次（ハーモニカ）
合唱団ミール
反原発歌いたい
村石俊也（ギター独奏）
飯島貞親
かつらぎ民話語る会

至谷津 京成電鉄 京成津田沼 南口ロータリー
会場 京成労働会館

主 催：日本音楽協議会千葉県支部
問合せ先：090-2560-5430
瓦井(カワライ)まで



連合高岡地協メーデー

●富山県では、「連合富山結成30周年記念 第90回高岡地協メーデー」が4月27日(土)射水市・海王丸パークにおいて開催されました。会場には、連合加盟組織より1,800名以上の組合員や家族が参加し、盛大に開催されました。

県支部は、開会前のオープニングで「連合歌」とメーデー歌「あいの風にのせて」等を歌いました。前日から天候が心配されましたが、案の定、雨と強風に悩まされました。雨はテントで凌げましたが、今までにないとんでもない寒さで指が痺れてミスタッチ多々残念でした。(富山・磯野友一)

日音協ソング2019の募集について(要旨)

日音協ソング2019は、2018年同様に、日音協幹事会の責任で、応募曲の中から入選など全国に広めたいというたを選考し、日音協幹事会が推薦曲を決定して11月の総会に発表することになります。第52回はたらくものの音楽祭出演申込書でも応募できることとするとともに、9月16日を応募締切にしますので、同音楽祭で演奏される新曲を、積極的に応募されるようお願いいたします。日音協各支部、各労組音協、各サークル、会員の積極的な応募を要請いたします。

記

1 対象

- (1) 歌詩のついた音楽とし、詩だけ、曲だけの応募は受け付けません。みんなでうたえる歌、というような限定はしません。
- (2) はたらくものの音楽祭ですすでに演奏されたことのある曲は対象にしません。
- (3) 詩または曲の作者である日音協会員が応募することとして、会員ひとり2曲までとします。
- (4) 日音協会員以外の人がつくった作品の場合、日音協支部の推薦が必要です。1支部につき2曲までとします。

2 応募方法 ①②③のいずれかとしします。

- ① 歌詩つきの楽譜 日本音楽協議会事務所に送るか、または第52回はたらくものの音楽祭受付に提出してください。
- ② 音源CD、カセットテープなどの媒体か、電子ファイルとして、日本音楽協議会事務所に送るか、または第52回はたらくものの音楽祭受付に提出してください。
- ③ 第52回はたらくものの音楽祭での演奏曲名、作者名(詩・曲)と第52回はたらくものの音楽祭での演奏で日音協ソング2019に応募するむねを記して日本音楽協議会事務所に送るか、または音楽祭受付に提出してください。

3 締切り 日音協事務所に送る場合は、2019年9月8日(日)24:00

音楽祭受付に提出する場合は、9月16日(月)13:00

4 審査 日音協幹事会の責任で2曲程度の推薦曲を選びます。

5 推薦曲の公表 2019年11月16日予定の日音協第56回定期総会で推薦曲を披露し、日音協機関紙『音楽運動』に楽譜を掲載するとともに、第53回はたらくものの音楽祭で演奏します。

6 応募作品等の提出先

- (1) 日本音楽協議会 事務所所在地 101-0061東京都千代田区三崎町3丁目10-15富士ビル505号室
ファックス 03-6369-3057 インターネットメール nichion@yomogi.or.jp
(音声データファイルの場合は、メール添付ファイルでなく、ダウンロード先URLを指定する方法としてください)

- (2) 第52回はたらくものの音楽祭会場 秋田県児童会館けやきシアター 〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-2
TEL: 018-865-1110

水道橋 だより

▼「元号嫌い」と掛けて/「ボランティアの神髄を理解している人」と解く/そのココロは/「レイウ(礼は)いりません」。(飯島)

▼おまけ、3日の行動の後、私は、さをりさんといっしょに東池袋まで帰りながら話をした。ボイストレーナーを生業としているらしい。なるほど、素敵な声だった。その他のことも話したが、茱萸坂に参加されたら本人からもっとたくさん話を聞きたいですね。ライブにも行きたかったけど、熱でダウンしていた私はかきませんでした。(歌いたい：長島)

▼月末とか、この時期に会議や集会有ると、音楽運動編集の担当として気が休まらない。今回は、1日～2日の全国代表者会議、臨時総会、はたらくものの音楽祭中央実行委員会。どう結論がでるか分からない中での編集作業。会議中での作業となった。▼そういった中、どのように読んでもらっているのかも気になる。その前に読者の皆さんに届いているのかどうか？音楽運動はメール配信と郵送で皆様の手許へ。両方きいているよ、と連絡をいただいたこともあった。が、届いていない方は購読中止にもつながる。最近写真掲載の多様のため容量が大きくなり、メール配信が届きにくくなっています。▼各支部の皆さん、会員・読者の皆さんに「音楽運動」がちゃんと届いているかどうか点検してもらえないでしょうか。もちろん幹事会としても確認作業をしていきます。(佐藤)

歌の力が物語るもの78

官邸前反原発行動 5/3 (344回) 報告 R i c o

参加者 長島、よつこ、松崎、鈴木、達哉、さをりさん、なべさん、コミネツチ、森 計9名

憲法記念日！有明の防災公園で65000人を集めて行われた集会は暑かった！それでも金曜日。パレードの送り出し演奏を終えてから茱萸坂に向かった。反原連の行動はいつも通りだが、さすがに参加者が少ない。財務省上交差点でのたんぼぼ舎の皆さんも、今日は憲法集会に集中とのことで誰もいない。風刺画のエリアも不在。でも妙法寺さんの読経と太鼓の音は有る。励まされる。

ハイライトはなんといつても初参加の、さをりさん！憲法集会で知り合った。パレードの

送り出し演奏にギターで加わってくれて、知らない歌に楽譜が無くて音を付けてくれた。集会後、送り出し用の歌詞カードに松本さんがコードを書き込んでくれたので、茱萸坂でもその歌詞カードを中心に歌った。反原連の歌は少なかつたけど、そこはほら、憲法記念日だから。

さをりさんは3000運動が中心だったそうで、『座りこめここへ』も知らなかった。この歌が原発建設反対の運動から生まれたことや辺野古バージョンの成り立ちを話した。なべさんから『月桃』のリクエストもあったので、沖縄戦や慰霊の日、日米地位協定の理不尽な

ど、たくさんではないけれど話すことができました。

さをりさんは曲を作り始めてもう15年以上のこと、作品も50～60曲あるという。ライブ活動もされている。国会正門前の参加者をお見送りの歌で送った後、お願いして歌ってもらった。

最初の歌は『少年兵』。「僕は殺(あや)めてしまった 肌の色が違うだけの「僕」を 話す言葉が違うだけの「僕」を」だから「パパを ママを 忘れていたい」と、自分自身を消してしまいたいほどの葛藤……。さつき沖繩の兵士の話の時、私は「人を殺す訓練をしている。まともな人間の感性をそぎ落とさなければ人は殺せない。」と話した。そのこととリンクして沁みでくる。

「もっと聴きたいー」とお願いすると快く準備。次は『選挙カー』。「選挙カーは今だけ 愛想ふりまいてるだけ 彼女も

いまだけ 今だけ愛してる」「義務を果たしている気になっても今だけ」。かろやかなリズムで痛烈！『そのときだけ』の薄っぺらさ、そのあとの無関心。中島みゆき似のパワフルな歌声。そして最後にジョン・レノンの歌だそう「女は世界の奴隷か」と歌う。中に「沖繩は日本の奴隷か？」という歌詞を入れ込んで。

後悔した。もっと早く歌ってもらって、集会帰りの人たちにも聴いてもらえばよかった。あもつたいない！

茱萸坂の私たちのことも、「こつこつ、歌で続ける活動っしたいです。」と言ってくれたよ！新しい仲間！嬉しいなあ、ぜひぜひ、お待ちしています！

(文中の歌詞は森のメモと記憶によるもので、そのままだけではありません。あしからず。)

どん行

(119)

飯島貞親

日本が戦争への道に進む方向に傾いていることに想像が届かないのだから。

▼「戦争しないとうしようもないじゃないですか」。丸山穂高衆院議員(日本維新の会・35歳)が北方四島のビザなし交流のなかで、元島民の訪問団長に対して主張した。団長は「戦争はするべきではない。戦争なんて言葉は使いたくない」と反論したが、議員は酒に酔って取り合わなかったという。▼国家間の問題をいとも簡単に戦争で解決しようという政治家がどこにいらっしゃる。現代では、政治の究極的な目的は外交努力によって戦争を起こさないことにある。あまりの見識の無さにあされるほかない。数の力で政策を押し進め、忖度やおごり、緩みが問題にされている安倍政権だけでなく、戦争の本質を知ろうとせず政治家としての自覚のなさも広がっている。▼1970年代前半に流行った「戦争を知らない子どもたち」という脳天気な歌に対して、詩人の木村和さんが、「戦争を知らぬふりする子どもたち」というこの風潮を批判した歌を創った。時代は変わって、これからの日本は「ふり」ですませられる状況ではなくなった。安保法の集団的自衛権により、これからは実際に戦争を体験する自衛官が増える。▼軍拡を好む政権を見て育った丸山穂高議員には、日本が戦争への道に進む方向に傾いていることに想像が届かないのだから。